

令和7年度学校評価計画書

学校名（廿日市市立四季が丘中学校）

| 評価計画 | | | | | 自己評価 | | | | | 学校運営協議会 委員評価コメント | 改善方策 |
|--|--|--|--|--------------------|----------|----------|----|----|----------|---------------------|------|
| 中期経営目標 (めざす児童生徒像) | 短期経営目標 (めざす児童生徒像) | 目標達成のための方策 | 評価項目・指標 | 目標 (前年度) | 中間 8月 | 最終 2月 | 達成 | 評価 | 結果と課題の分析 | | |
| 生徒が主体的 に学ぶ教育を 推進し、自分の 考えを表現で きる力を育成 する。 (主体性と表 現力の育成) | ◎「子どもが主 役」の授業の 推進 ○表現力の向上 を目指した 授業づくり の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の思考に沿った「生徒が主役」の学習展開 ・生徒が「まなびたい」「考えたい」と思えるような問いや学習課題の設定 ・ICTの効果的な活用 ・「本時の目標に沿った振り返り」による学びの充実 ・教科の特性を生かした表現の場の設定 ・生徒の質問力の向上に関わる教師からの働き掛け | ・「話し合い活動に進んで参加し、自分の考えを伝えている」と肯定的に回答する生徒の割合【校区共通】 | 90% (87%) | | | | | | | |
| | | | ・「生徒が主役」の授業実践提案回数 | 各教員 2回以上 (-) | | | | | | | |
| | | | ・『「本時の目標に沿った振り返り」をいつも書かせている」と肯定的に回答する教職員の割合 | 90% (-) | | | | | | | |
| | | | ・「話し合い活動で、生徒の質問力の向上に関わる働き掛けをいつも行っている」と肯定的に回答する教職員の割合 | 90% (-) | | | | | | | |
| | | | ・学力調査（1月実施）の通過率 | 通過率 全国平均 以上 | | | | | | | |
| 生徒が自分の 良さや可能性 を認識し、互い に認め合い、協 働しながら課 題を解決でき る力を育成す る。 (協働性と自 己有用感の育 成) | ○自他を認め合 い、ともに尊重 し合う風土づ くり ○集団の中での 役割の意識の 向上、自己有用 感の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活すべてを自分たちで動かす意識の醸成 ・リーダーを中心とした主体的な活動の実施 ・生徒同士による相互評価活動の推進 | ・「自分はクラスの人や友達の役に立っている」と肯定的に回答する生徒の割合【校区共通】 | 85% (72%) | | | | | | | |
| | | | ・「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する生徒の割合 | 85% (82%) | | | | | | | |
| | | | ・「先生や友達は、私のよいところを認めてくれている」と肯定的に回答する生徒の割合 | 85% (82%) | | | | | | | |

| 評価計画 | | | | | 自己評価 | | | | | 学校運営協議会 委員評価コメント | 改善方策 |
|--|--|--|---|---------------|----------|----------|----|----|----------|---------------------|------|
| 中期経営目標 (めざす児童生徒像) | 短期経営目標 (めざす児童生徒像) | 目標達成のための方策 | 評価項目・指標 | 目標 | 中間 8月 | 最終 2月 | 達成 | 評価 | 結果と課題の分析 | | |
| 生徒が自分の 良さや可能性 を認識し、互い に認め合い、協 働しながら課 題を解決でき る力を育成す る。 (協働性と自 己有用感の育 成) | ○ふるさとへの 愛着と誇りの 育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した未来創造的な学習の実践 ・生徒が自ら計画し校外に出ていく活動の推進 | ・「四季が丘中学校は、地域の方々に支えられている」と回答する生徒の割合 | 85% (-) | | | | | | | |
| | | | ・「廿日市市の歴史や文化、観光、産業に関心がある」と肯定的に回答する生徒の割合 | 70% (-) | | | | | | | |
| | | | ・「四季が丘中学校の生徒でよかったと思う」と肯定的に回答する生徒の割合 | 90% (90%) | | | | | | | |
| | | | ・生徒が自ら計画を立てた校外学習の実施回数 | 各学年 1回以上 | | | | | | | |
| 「働きがい改革」を進め、地域と連携・協働し、教育の質を高め、信頼される学校をつくる。 | ○働きがい改革を推進する。 ○がんばる姿を積極的に発信する ○「不祥事0」の風土を醸成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校務 DX のさらなる推進 ・協働する職場風土づくり（学年担任制の活用） ・OJT により伸びている自分を実感できる環境づくり ・学校だより、学年だよりの活用 ・不祥事防止委員会の機能化と研修の充実 | ・「時間外勤務 45 時間超」にならない教職員の割合 | 75% (71%) | | | | | | | |
| | | | ・「四季が丘中学校で学ばせてよかったと思う」と肯定的に回答する保護者の割合 | 88% (88%) | | | | | | | |
| | | | ・「四季が丘中学校は働きやすい職場だと思う」と肯定的に回答する教職員の割合 | 100% (92%) | | | | | | | |

<評価基準> A：十分に達成されている（100%以上） B：概ね達成されている（90%以上100%未満） C：やや不十分である（75%以上90%未満） D：不十分である（75%未満）